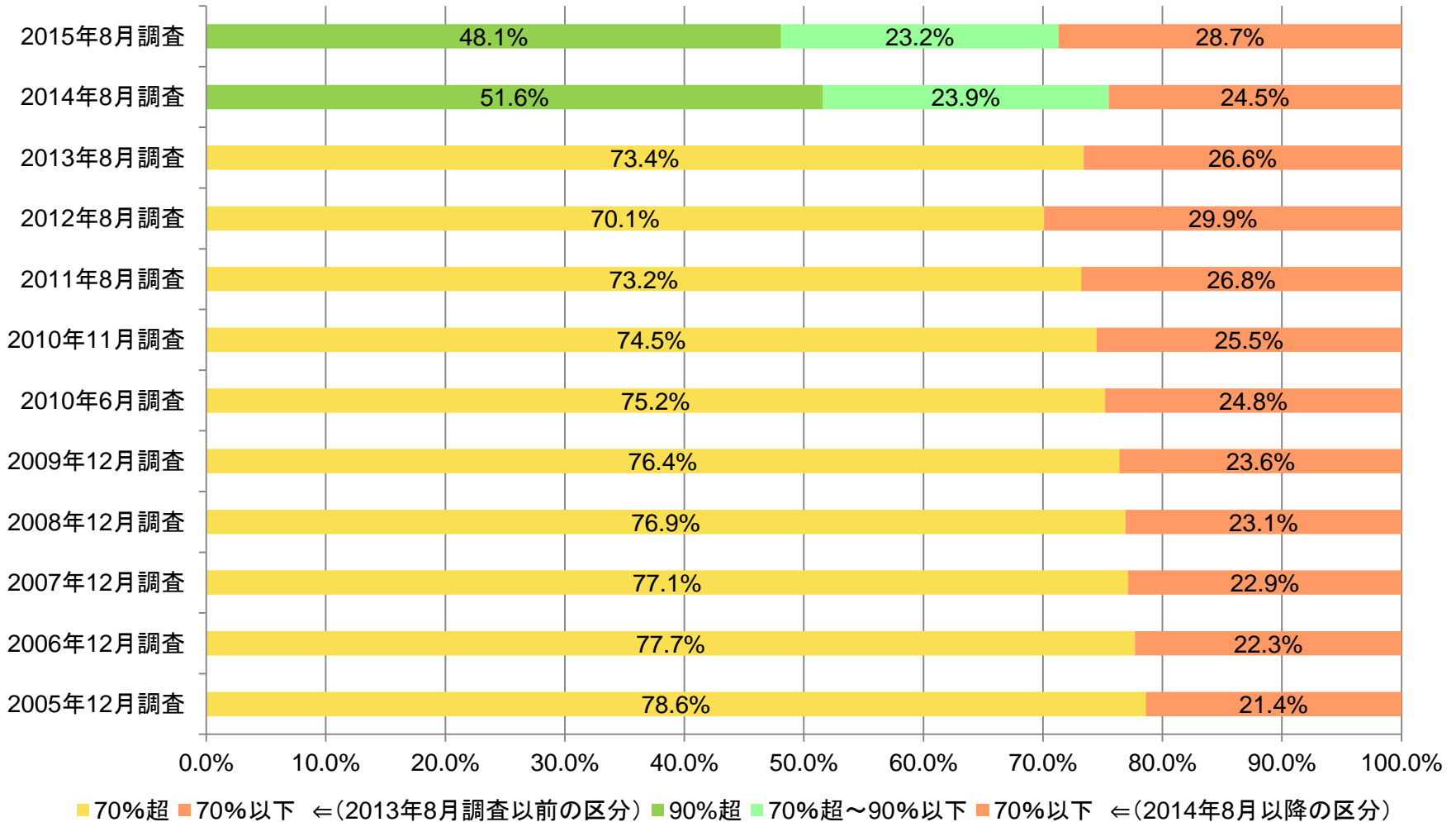


日本保険薬局協会 ジェネリック医薬品及びかかりつけ薬局に 関するアンケート報告書

2015年9月
一般社団法人 日本保険薬局協会

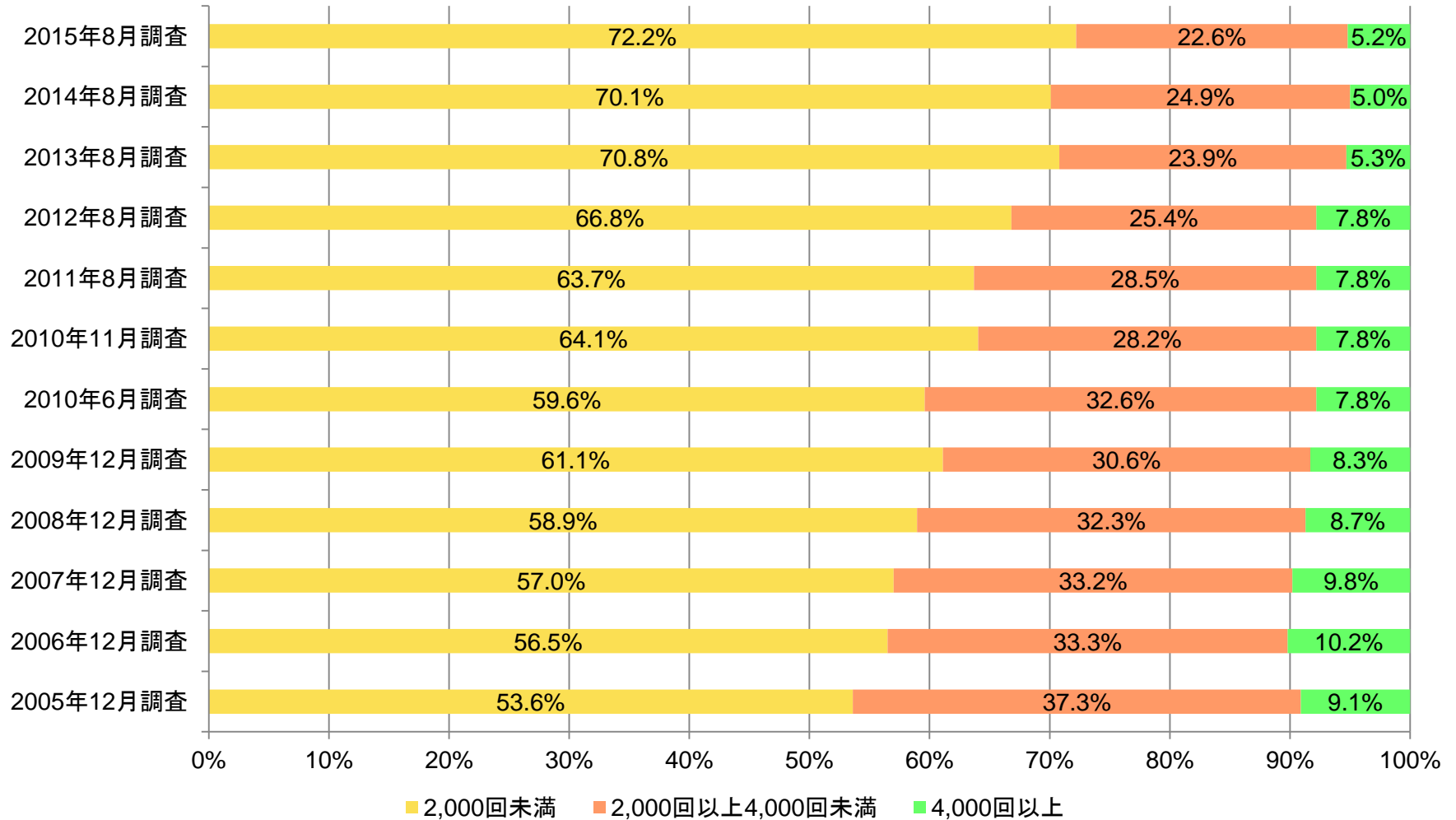
処方箋集中度

問1. 処方箋集中度について教えてください。(処方箋集中度とは、貴店舗の調剤基本料を算定する際の値とお考えください)
有効回答数: 2609件

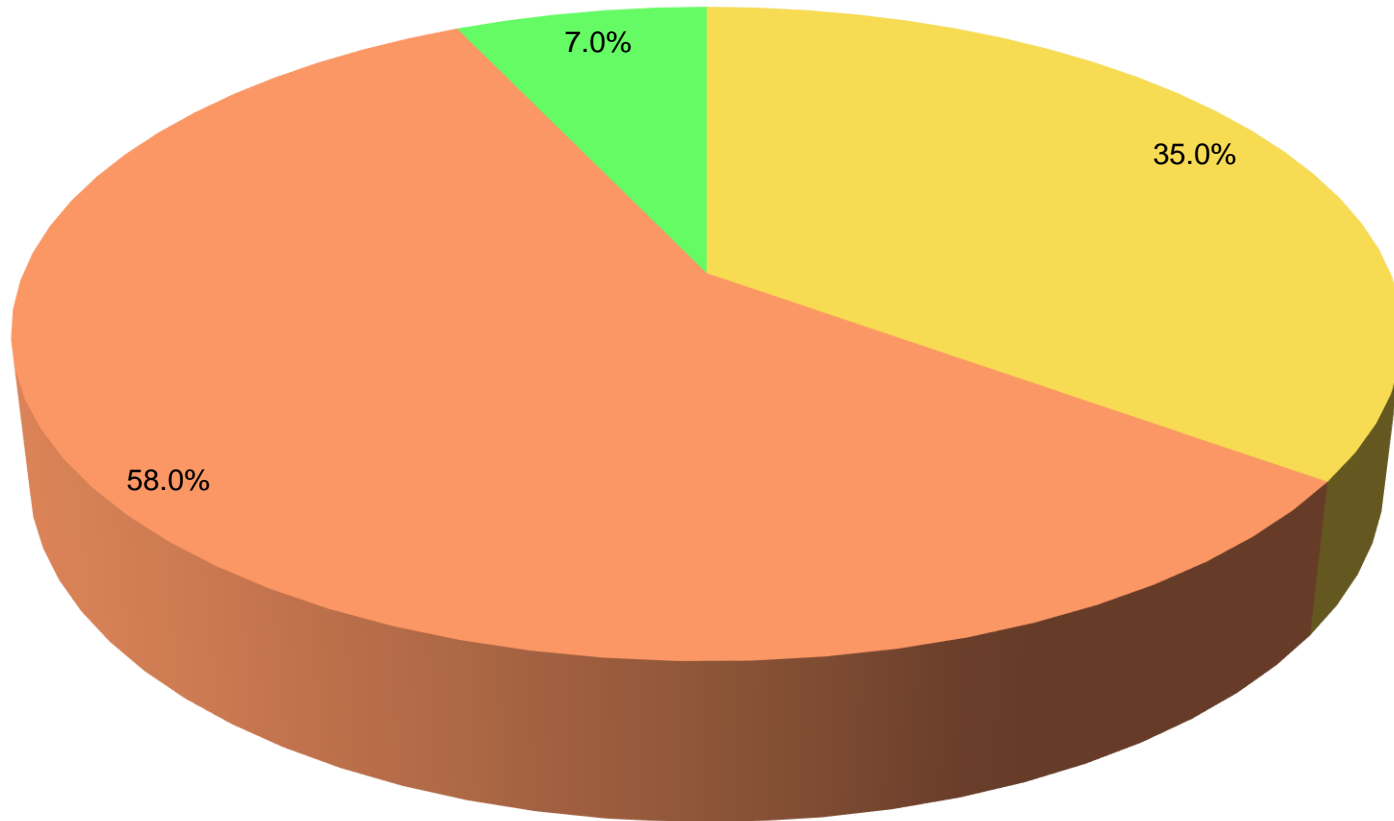


月間の平均処方箋受付回数

問2.月間の平均処方箋受付回数はおおむね何回になりますか。(平成26年4月1日～平成27年3月末日の期間でのおおよその月間平均の処方箋受付回数をお答えください) 有効回答数:2609件



問3.立地状況について教えてください。 有効回答数:2608件

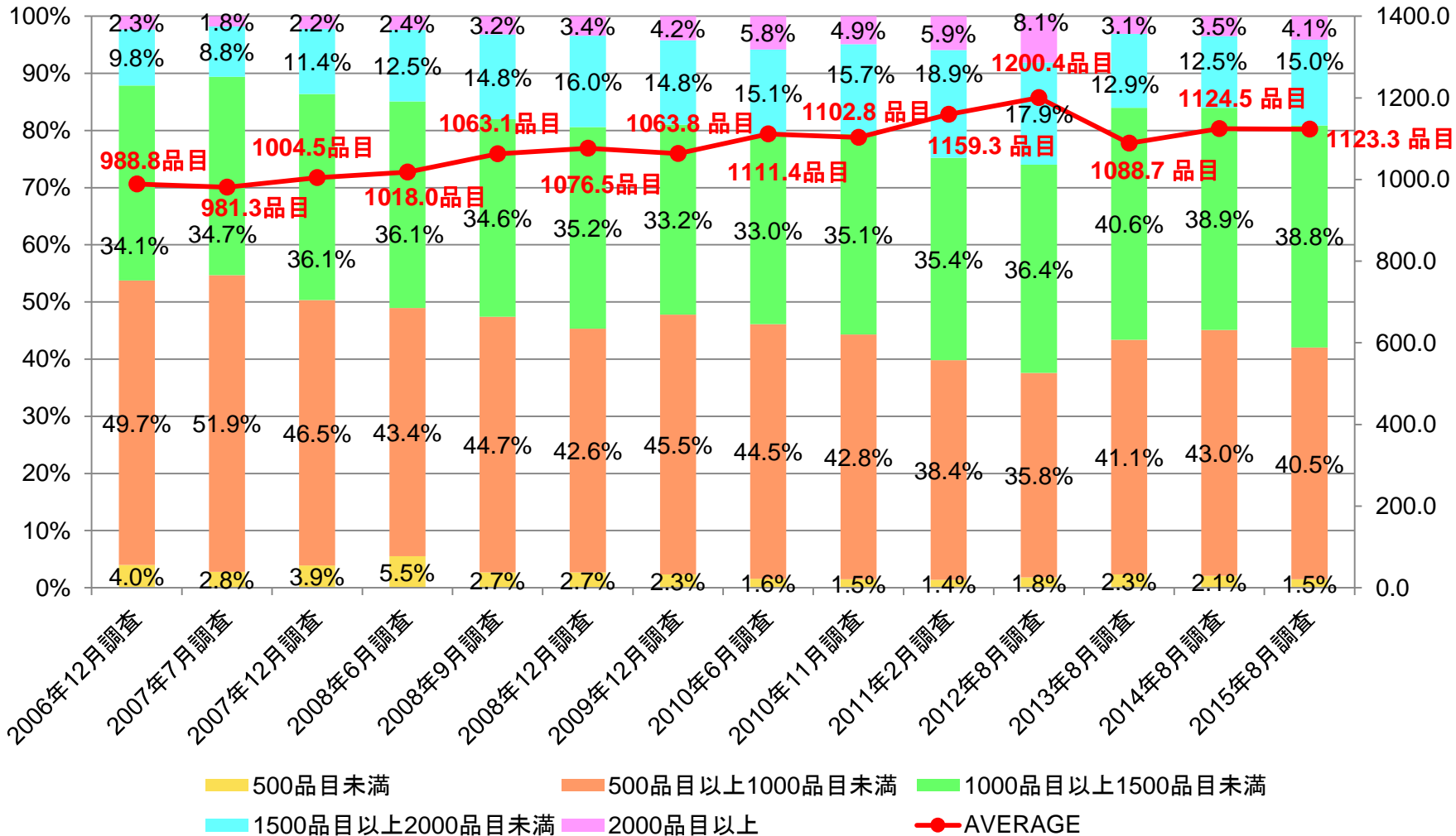


■ 病院前 ■ クリニック前 ■ その他(街中含む)

在庫している全医療用薬品総品目数

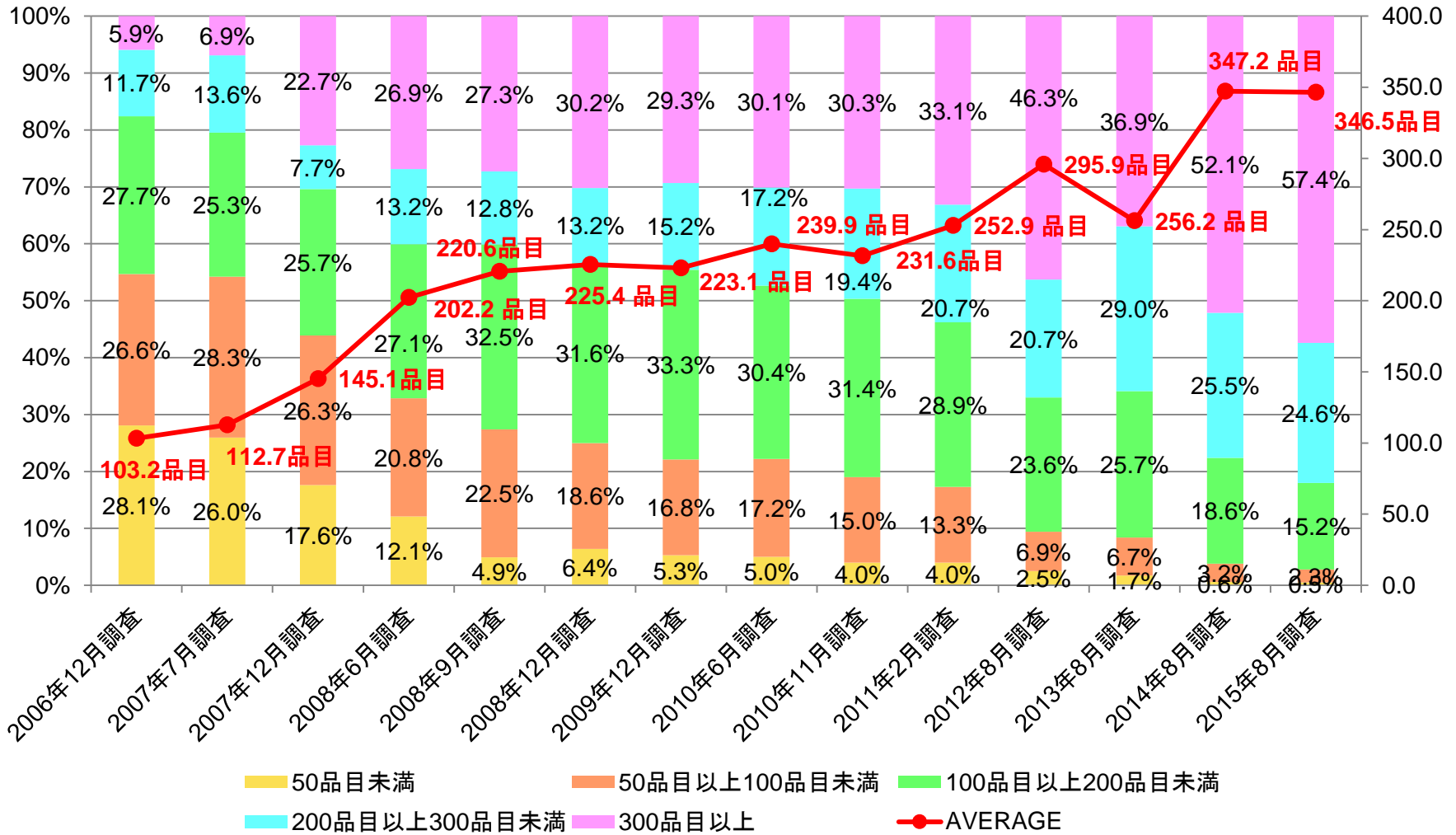
問5. 現在在庫している医療用医薬品数について教えてください。

1. 在庫している全医療用医薬品の総品目数 有効回答数:2614件



在庫している後発医薬品品目数

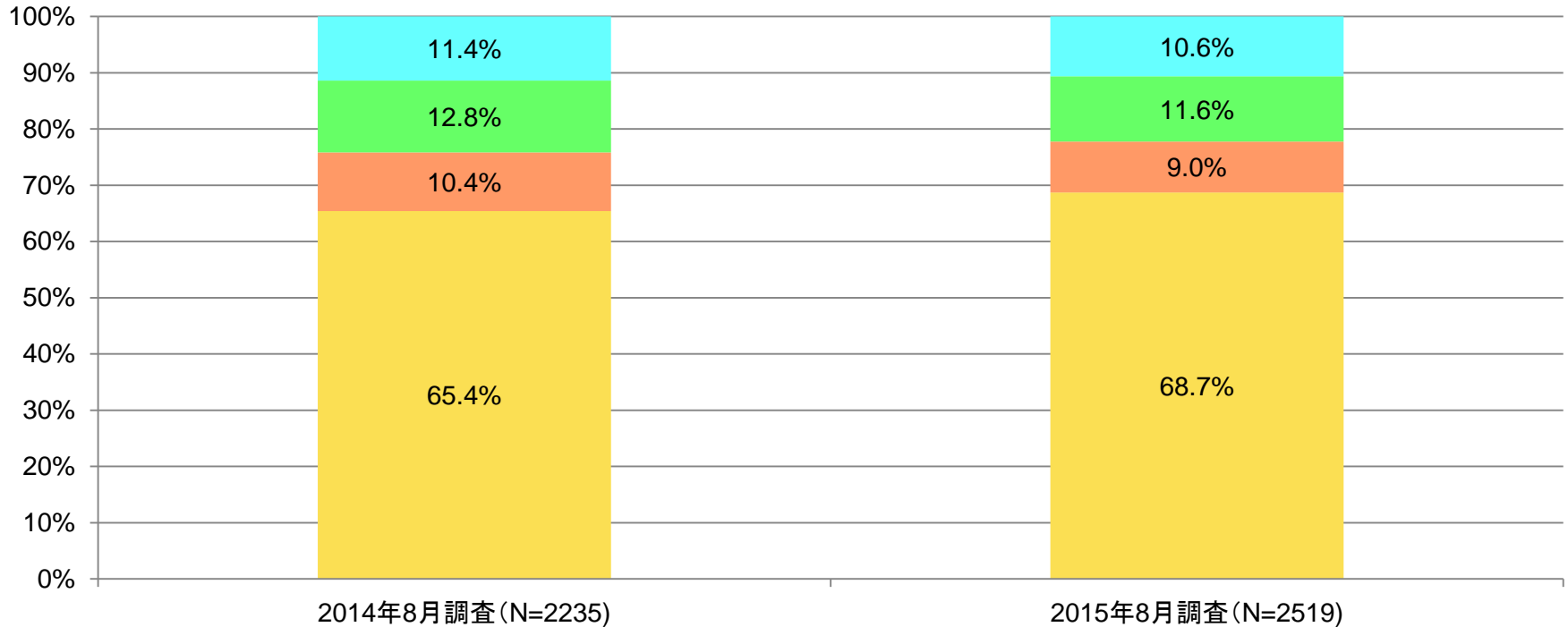
問5. 現在在庫している医療用医薬品数について教えてください。
2. 在庫している後発医薬品の品目数 有効回答数: 2561件



先発医薬品の調剤状況

問7.問6の内訳についてお聞きします。直近1ヶ月で先発品のみの調剤をした処方箋を100%とした中で、以下設問の内訳についてお教えてください。有効回答数:2519件

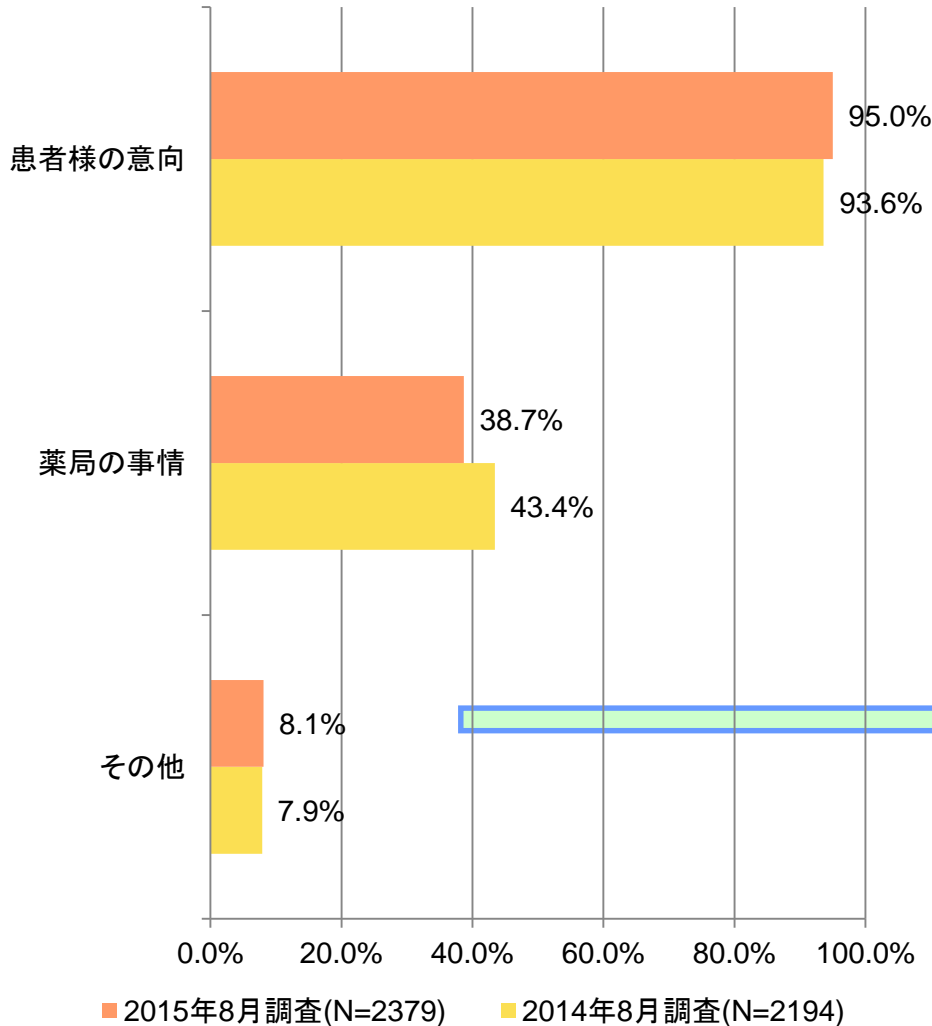
- 1.後発医薬品の無い先発医薬品のみ記載された処方箋の割合
- 2.後発医薬品に変更可能であったが、諸事情により先発医薬品のみを調剤した割合(変更不可の記載の場合を除く)
- 3.変更不可の記載があり、全てを先発品で調剤した割合



- 後発医薬品の無い先発医薬品のみ記載された処方箋の割合
- 後発医薬品に変更可能であったが、諸事情により先発医薬品のみを調剤した割合(変更不可の記載の場合を除く)
- 変更不可の記載があり、全てを先発品で調剤した割合
- それ以外の処方箋

後発医薬品に変更しなかった理由

問8.問7の2についてお聞きします。後発医薬品に変更しなかった主な理由は何ですか。(複数選択可) 有効回答数:2377件



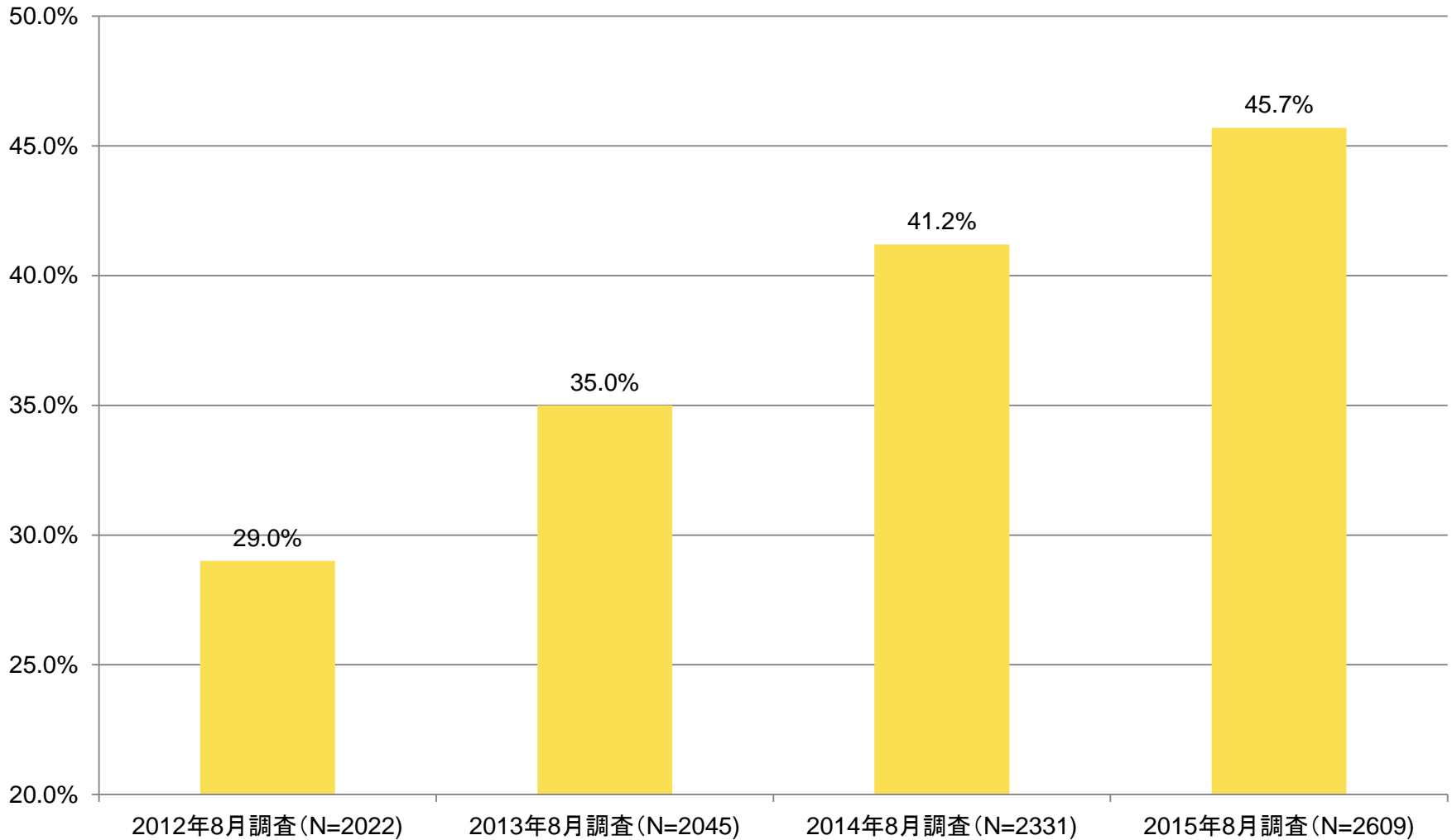
その他

- ・後発品としてのメリットより変更による体調変化リスクなどのデメリットの方が大きい
- ・包装単位がない
- ・医師が後発品を嫌がる
- ・服用経験のある薬を希望
- ・配合変化の軟膏混合
- ・医師からの処方箋以外での指示
- ・精神科の転院のため変更が難しい
- ・小児用散剤の味の問題などによるDrからの要望
- ・処方箋は一般名で記載されているが先発医薬品調剤の指定をされているため
- ・在庫量が少なく薬価差の小さい薬剤はGEを備蓄していない広域処方のため
- ・準備に時間がかかるため
- ・後発医薬品の供給不安定により在庫不十分だった
- ・眼科門前の医師が添加物が変わるので目薬はあまり変更しないようにと指示あり
- ・吸入薬のみの処方など
- ・患者様のご高齢で後発品に変更して薬品名が変わることでコンプライアンスが落ちる可能性がある為
- ・外用薬は後発への変更の際に皮膚の状態が悪くなった方が多かったため先発で用意
- ・外用、内服限らず体の痒みが出て先発品に戻す事がある
- ・ジェネリックのほうが錠剤が大きくて飲めないため

一般名で記載された医薬品の現状

問11.一般名で記載された医薬品の現状についてお教えてください。

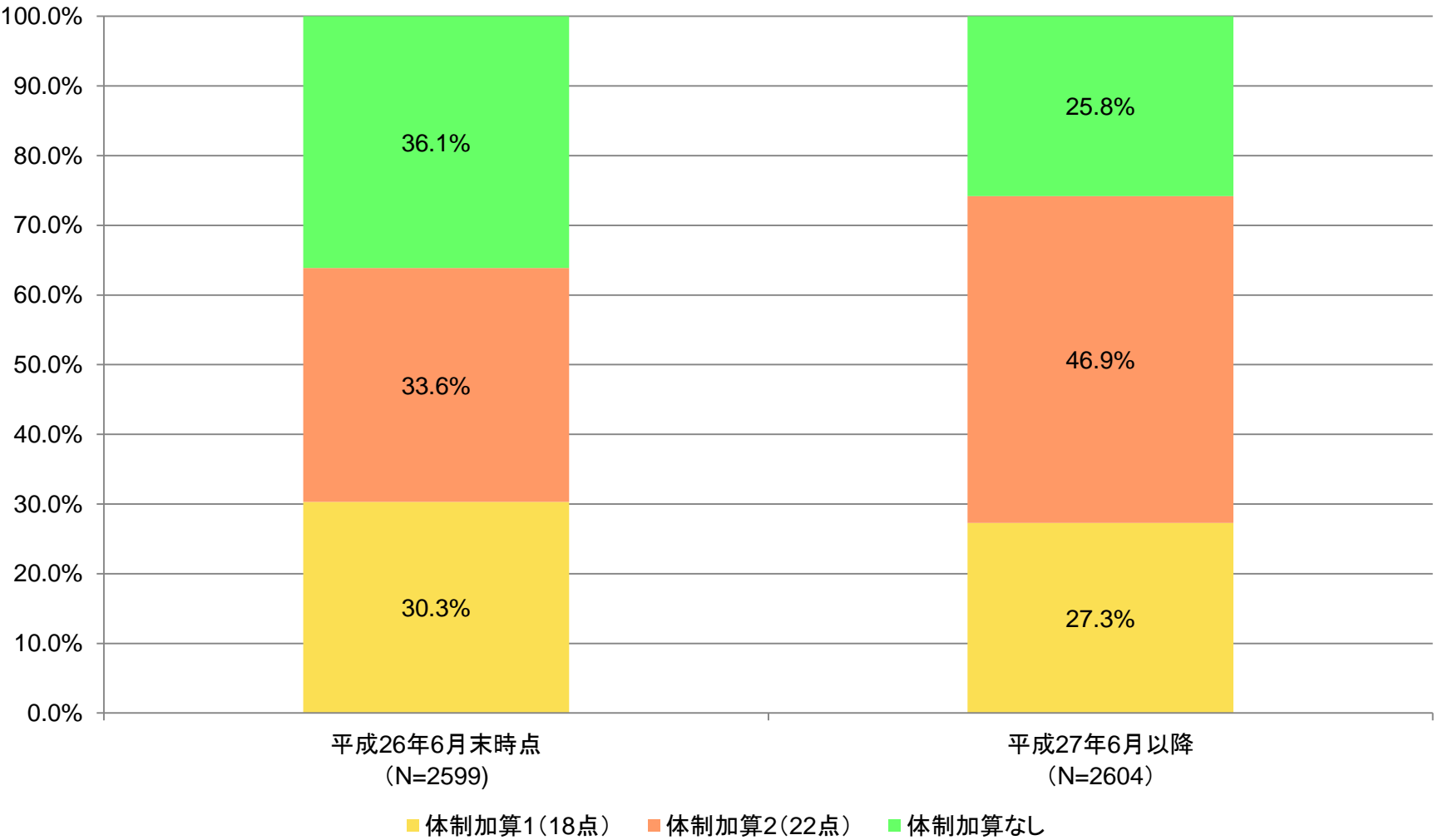
1.応需処方箋のうち、一般名で記載されている医薬品を含む処方箋の割合はどの程度ですか。有効回答数:2609件



後発医薬品調剤体制加算の区分状況

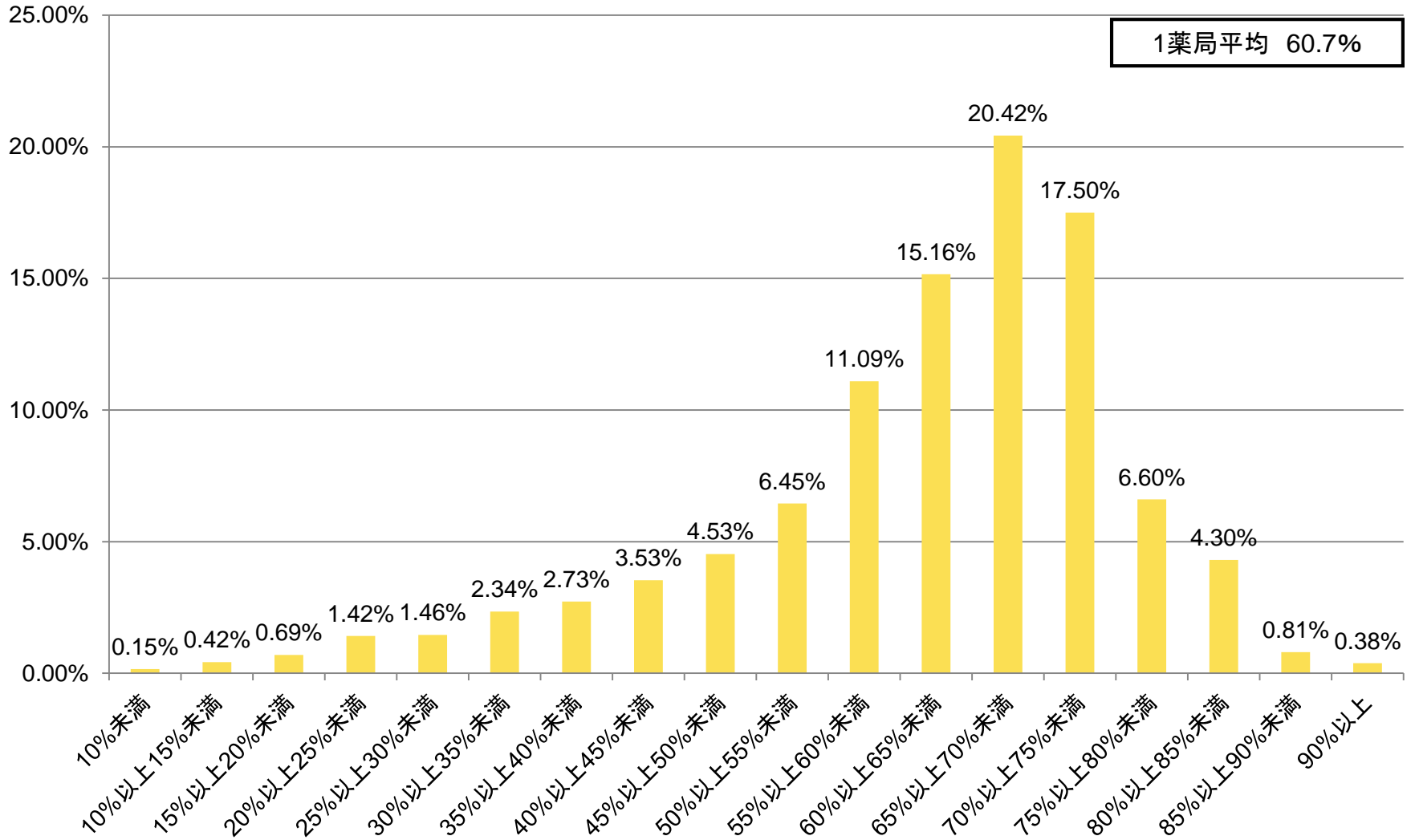
問12. 貴薬局の後発医薬品調剤体制加算の区分の状況について教えてください。

1. 平成26年6月末時点 有効回答数: 2599件 2. 平成27年6月以降 有効回答数: 2604件



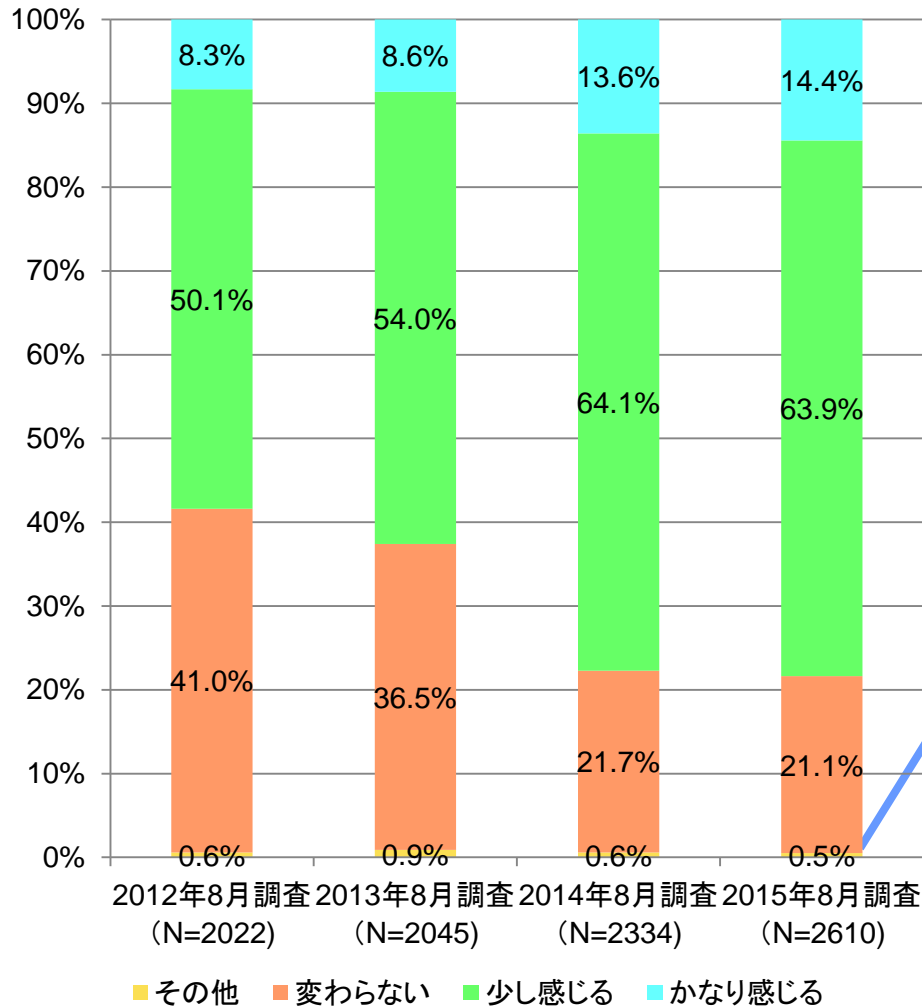
直近の後発医薬品の調剤割合

問13.貴薬局の直近の後発医薬品の調剤割合(新指標)はどのくらいですか。 有効回答数:2605件



後発医薬品への関心

問15.一般名処方や薬剤情報提供文書への後発医薬品情報の記載、薬局での案内等により、患者の後発医薬品への関心は高まったと感じますか。有効回答数:2610件



その他

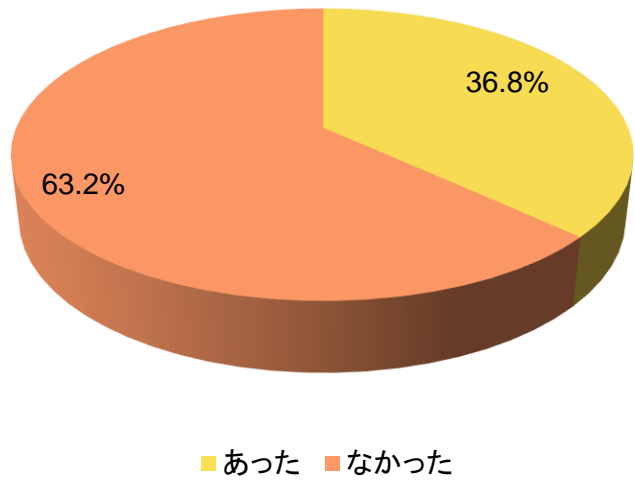
- ・投薬時にあらためて後発医薬品をアピールする時に話ができるので患者の関心を高めることができる
- ・市から患者宅への案内通知も関心が高まった要因だと思う
- ・特別な理由もなく後発品を嫌う人には後発を勧めることができなくなった
- ・一時は増えていたように思われるが、昨年末ぐらいから先発希望の方が増えているように思われる
- ・保険からの連絡で変更される方がいる
- ・逆に後発品は嫌だという人が増えた気がする
- ・関心は高まったが逆に変更しないで欲しいという希望も増えたように感じる
- ・CMや国保からの案内がうるさいと感じているようです
- ・後発希望は多少増えているが、要因は全てテレビCMの影響
- ・むしろ一般名処方になったことで、後発品の処方だった方が先発品になるケースが増えた
- ・関心は高まりつつあるが、上記の効果だとは考えていない
- ・関心が高まり協力的な人と存在をして逆に絶対嫌と言われる方も増えた

後発医薬品の品切れ状況について

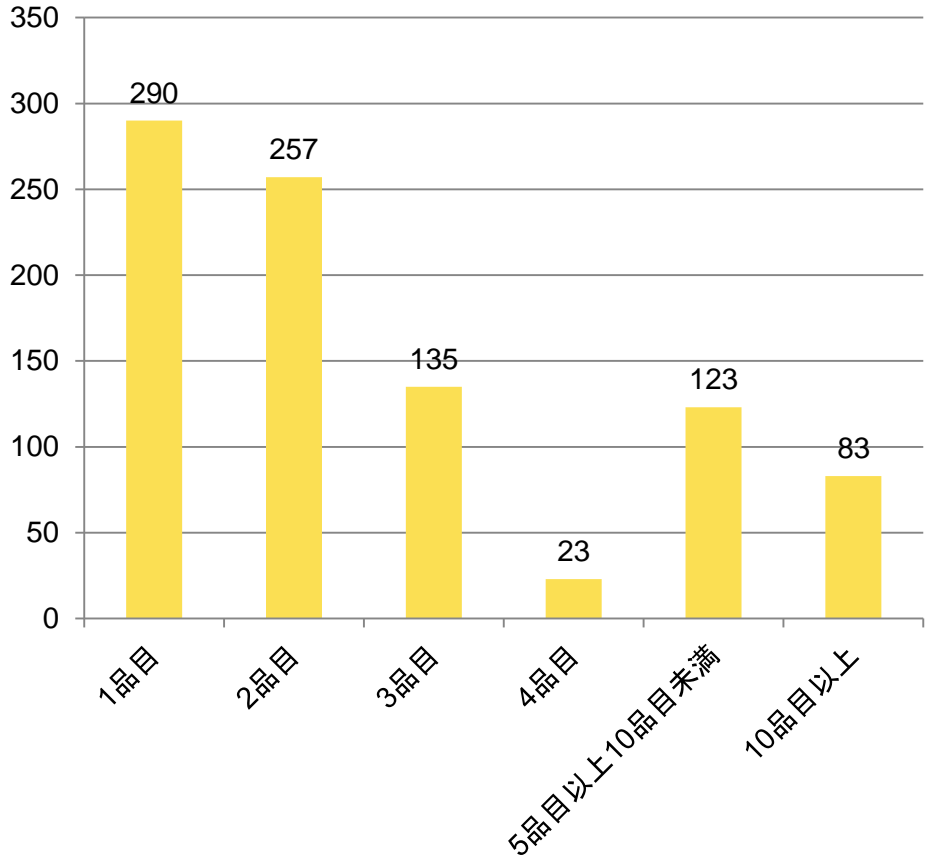
問18. (「直近1ヶ月または「直近1年間」)に貴薬局で採用していた後発医薬品のうち、品切れを起こした品目はありましたか？

※「品切れ」とは、注文日を含めた供給不能期間が、平日は2～3日(遠隔地は4日)、土日を挟んだ場合は2～5日(遠隔地は5～6日)以上の場合を指します。なお、「供給停止(メーカーが製造中止し出荷されなくなったこと)」は含まれません。

有効回答数: 2565件

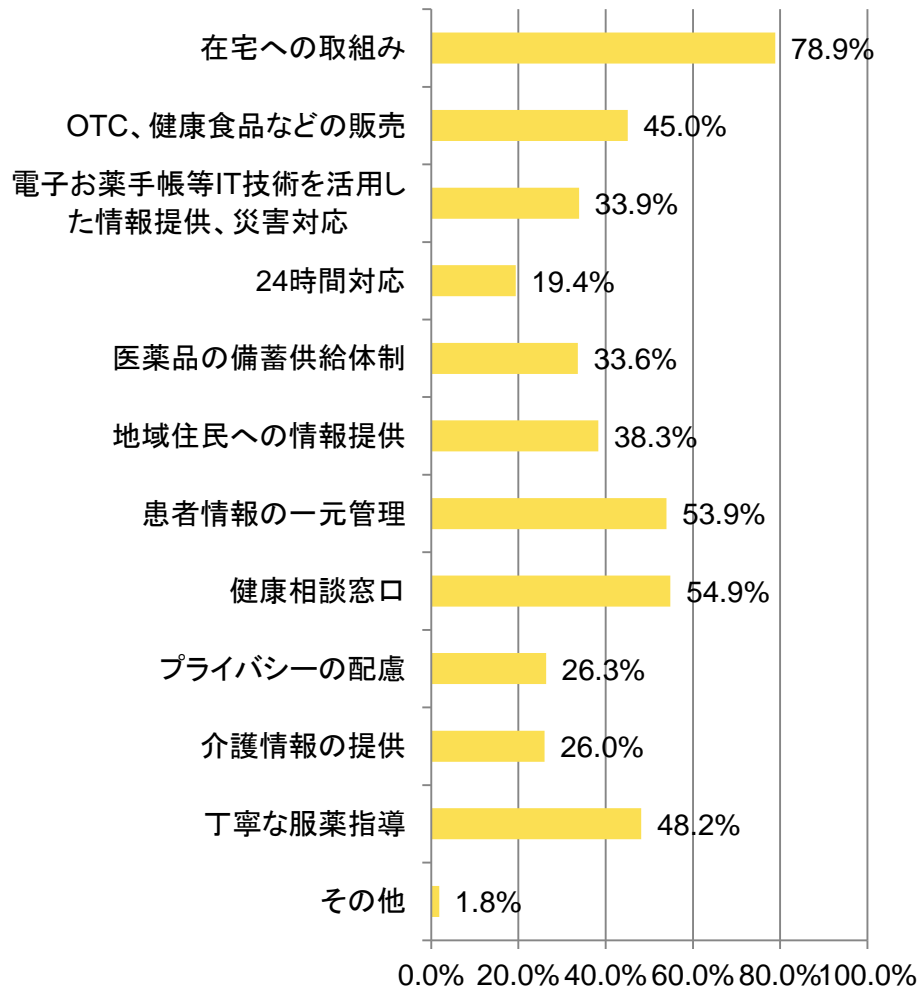


品切れがあったと答えた人へ品切れの品目数



かかりつけ薬局としての必要な機能について

問19. 昨今、かかりつけ薬局の推進が急速に求められている中、貴方が考えるこれからの薬局として必要な機能はどのように考えますか？ 有効回答数: 2616件

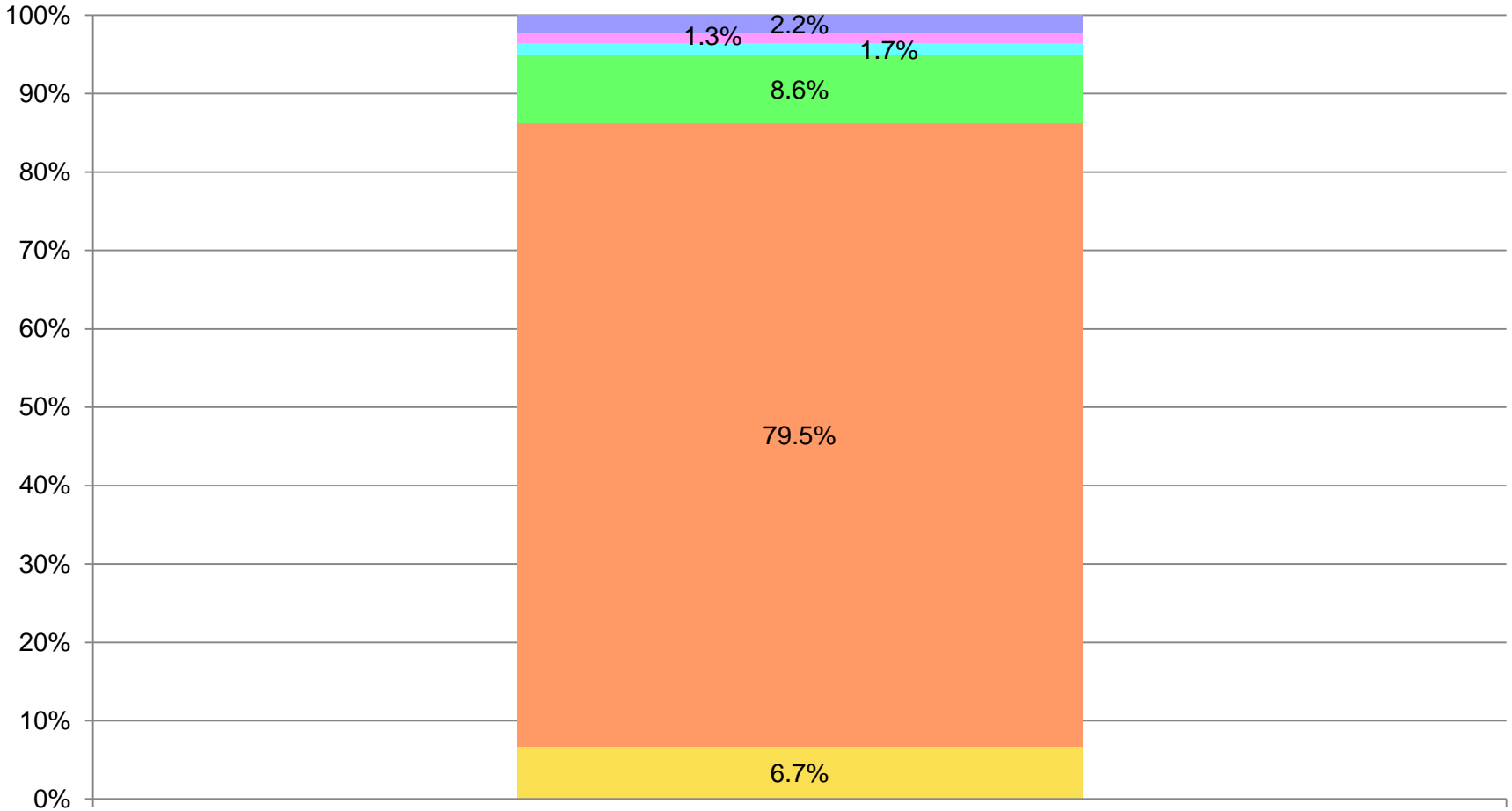


その他

- ・地域包括ケアシステムへの参加、取り組み、チーム医療への参加を通して地域医療への貢献
- ・災害医療への貢献
- ・残薬の削減
- ・24時間体制(在宅を含む)は地域センター薬局等の施設で輪番制にすべき
- ・患者様のお薬の整理について
- ・医薬品の備蓄供給ですが、卸の配送が頻繁かつ早くなってほしい
- ・医療機関との連携強化
- ・各老人施設への薬の供給、説明など
- ・プライマリ・ケアの視点
- ・服薬状況の確認管理
- ・他の医療機関と患者情報の共有
- ・セルフメディケーションの啓発
- ・薬剤、病態についての高度な知識
- ・薬剤師が患者一人ひとりにもう少し時間を割ける経営環境
- ・プライマリケアの現場として、初期症状相談の窓口になること
- ・医師と対等に話せる病識・薬識をしっかりと構築することとコミュニケーション力
- ・バイタルサイン計測
- ・検体測定室の認知度向上
- ・完全医薬分業: 急性期処方院内処方・慢性期処方リフィル処方院外処方区別させる
- ・リフィル処方への対応
- ・大規模災害を想定した、紙媒体のお薬手帳の普及
- ・スポーツファーマシストなどのプラスアルファの付加価値

OTCの取り扱い品目について

問20. 貴薬局のOTCの取り扱い品目数をお聞かせください。 有効回答数: 2600件

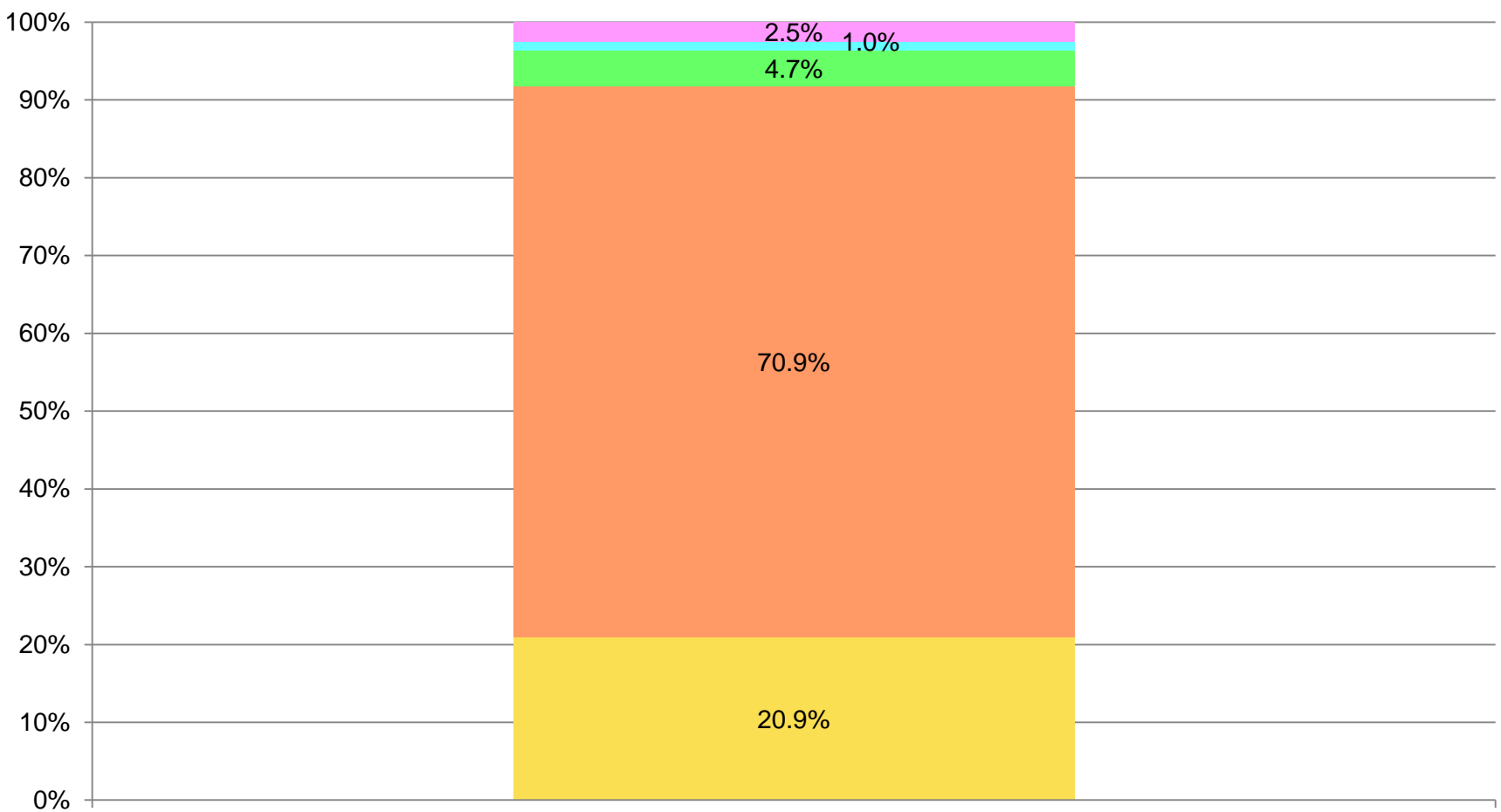


2015年8月調査(N=2600)

■ 0品目
 ■ 1~100品目
 ■ 101~300品目
 ■ 301~600品目
 ■ 601~1000品目
 ■ 1001品目以上

衛生材料、介護用品の取り扱い品目について

問21. 貴薬局の衛生材料、介護用品の取り扱い品目数をお聞かせください。 有効回答数: 2597件

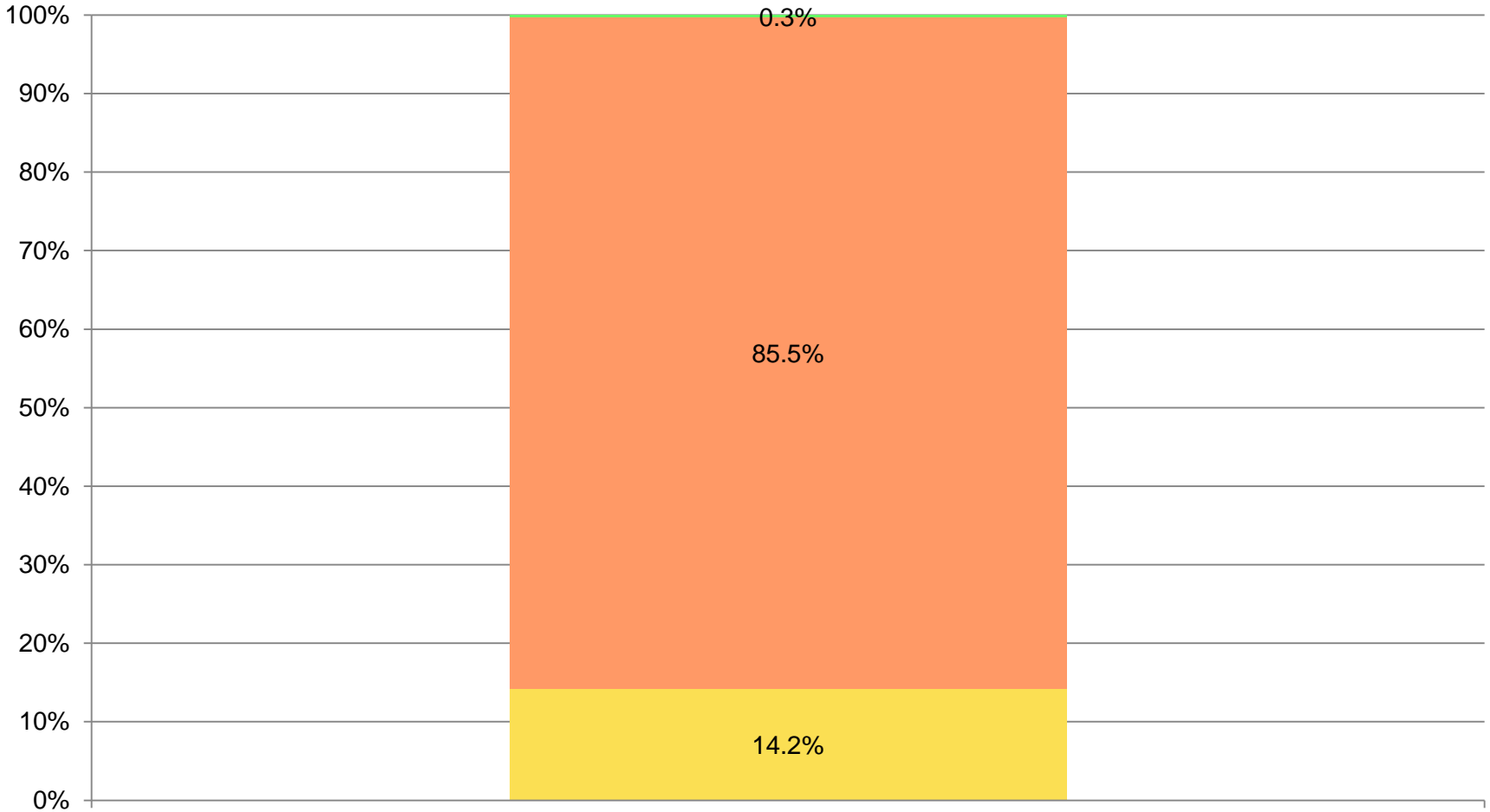


2015年8月調査(N=2597)

■ 0品目 ■ 1~30品目 ■ 31~60品目 ■ 61~100品目 ■ 101品目以上

24時間対応について

問22.貴薬局では24時間対応についてどのように対応していますか。 有効回答数:2600件



2015年8月調査 (N=2600)

■ 対応していない ■ 24時間体制 ■ 24時間開局

重複投薬・相互作用防止加算の取り組みについて①

問28. 重複投薬・相互作用防止加算についてお伺いします。

1. 貴薬局における重複投薬・相互作用防止加算の月間の算定件数についてお教えてください。 有効回答数: 2612件

